

平成29年度 第5学年 道徳 年間指導計画

六合東小学校 重点内容項目			【A-(1) 善悪の判断・自律・自由と責任】 【B-(7) 親切 思いやり】			
学年の願う子どもの姿			○本当の自由とはなにかを理解し、自分のとった言動に責任をもとうとしている。 ○あらゆる場面において、相手の立場を考え、思いやりのある言動をしようとしている。			
月	実施日	内容項目	ねらい	主題・資料（出典）	学習活動（案）	関連
4		きまりや規則 （A-1 善悪の判断、自律、自由と責任）	きまりや規則の意義を知り、進んで守ろうとする態度を育てる。	心ゆたかに 「大目に見てよ」	1 規律ある行動ができない場面を思い出す。 2 資料「大目に見てよ」を読んで話し合う。 ・保健委員の「わたし」は、級友のどんな姿が気になったのか。 ・先生に声をかけられた時、みんなはどのように感じたか。 3 自分たちの日頃の様子について考える。 4 教師の話を聞く。	自律的で責任ある行動を p 2 8～3 3
		わたしたちの学校 （C-16 よりよい学校生活、集団生活の充実）	学校の一員として自覚をもって、みんなで協力し合い、より良い校風をつくっていく心情を育てる。	心ゆたかに 「委員会自まん」	1 自分たちの学校で良いところはどんなところか考え、話し合う。 2 資料「委員会自まん」を読んで話し合う。 ・委員会を決めるとき人数が多くてクリーン委員会へだれかが移らなければならなくなったとき、私はどんなことを思ったか。 ・「雅子さん、あなた達に任せるね。」と清美さんから言われたわたしは、どんなことを思ったか。 ・希望していなかった委員会でも力いっぱい活動している清美さんの話を聞いて、わたしはどんな思いだったか。 3 今、委員会や学校のことで、あなたたちが思っていること、考えていることは、どんなことですか。 4 友達の日記を聞く。	より良い校風を求めて p 1 6 0～1 6 3
		相手の気持ちを考えて （B-7 親切・思いやり）	相手の気持ちや立場を考え、誰に対しても温かく親切にしようとする心情を育てる。	心ゆたかに 「車いすのゆうさん」	1 車いすに乗っている人が困っている様子について、話し合う。 2 資料「車いすのゆうさん」を読んで、話し合う。 ・手伝いに行こうか、どうしようか迷ったとき、ぼくはどんなことを考えたか。 ・ぼくが、じっとしていられなくなったのは、どんな気持ちになったからか。 ・ゆうさんと話しながら、ぼくは、どんな気持ちになっていったか。 3 親切に対する自分の考えをまとめる。 4 教師の話を聞く。	相手の立場に立って親切に p 6 0～6 5
5		自分らしさを伸ばす （A-4 個性の伸長）	自分の特徴をよく知り、長所を伸ばそうとする意欲を高める。	心ゆたかに 「テレビの父高柳健次郎」	1 自分のよいところや自分らしさについて話し合う。 2 資料「テレビの父 高柳健次郎」を読んで話し合う。 ・少年時代の健次郎はどんな子どもだったか想像してみよう。 ・努力を重ね、自分の研究を考えついたとき、健次郎はどんなことを思ったか。 ・ブラウン管に「イ」の字が映し出されたとき、健次郎はどんな気持ちだったか。 3 自分の長所についてじっくり考えさせる。 4 友達から見た自分のよさを知る。	短所を改め、長所をのばして p 5 0～5 3
		ともに伸びよう （B-10 友情、信頼）	男女互いに信頼し、協力し合ってともに伸びようとする心情を育てる。	心ゆたかに 「言葉のおくりもの」	1 友達と仲たがいがいた経験について話し合う。 2 資料「言葉のおくりもの」を読んで話し合う。 ・一郎さんが、手伝おうとしたすみ子さんに、ひどく怒った声で言ったのは、どんな気持ちからか。 ・すみ子さんが、リレーで失敗したたかしさんをかばい、力づけるのは、どんな気持ちからか。 ・すみ子さんの言葉のおくりものを聞いた一郎さんは、どんな気持ちになったか。 3 心のきずなという点から、友達関係を見つめ直す。 4 教師の説話を聞く。	たがいに信頼し、学び合って p 7 2～7 5
		責任を果たす （C-16 よりよい学校生活、集団生活の充実）	身近な集団の中で自分の役割を自覚し、最後まで集団の一員として、責任を果たそうとする態度を育てる。	心ゆたかに 「西町の旗」	1 自分の役割について発表し合う。 2 資料「西町の旗」を読んで話し合う。 ・筆が進まず、考え込んでしまったゆかさんは、心の中でどんなことを言っていたか。 ・ゆかさんが筆を持ち直したのは、どんなことに気づいたからか。 3 これまで果たしてきた役割やこれから果たしていきたい役割について考える。 4 周りの人たちからのメッセージを聞く。	自分の役割を自覚して p 1 4 0～1 4 5

6	/	支え合いや助け合いに感謝して (B-8 感謝)	日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえて、自分のすべきことを実践しようとする態度を育てる。	心ゆたかに 「おばあさんの心」	1 普段、感謝している人について話し合う。 2 資料「おばあさんの心」を読んで話し合う。 ・廃品を集めるはつさんにはどんな苦労があったか。 ・ためたお金を自分のためには一円たりとも使わないはつさんは、どんな気持ちで商品を集めていたか。 ・朝日を受けて輝く空き缶を見ながら、ぼくはどんなことを考えていたか。 3 自分たちの生活を支えてくれている人について話し合う。 4 感謝の手紙を書く。	支え合いや助け合いに感謝して p 8 8～9 1
	/	よりよい生活を (A-6 真理の探究)	常に創意工夫をし、より良い生活をつくり上げる心情を育てる。	心ゆたかに 「安倍杉の焼き下駄」	1 履き物について話し合う。 2 資料「安倍杉の焼き下駄」を読んで話し合う。 ・日ごろ、久次郎はどんなことを考えながら下駄作りに励んでいたか。 ・満足のいく焼き下駄を作りあげた時の久次郎は、どんな気持ちだったか。 ・久次郎は、どうして焼き下駄や漆塗り下駄を完成させることができたのか。 3 自分の生活を振り返り、発表する。 4 教師の説話を聞く。	進んで新しいものを求めて p 4 2～4 5
	/	心のこもった礼儀 (B-9 礼儀)	礼儀を大切にし、時と場合をわきまえて礼儀正しい生活をしようとする態度を育てる。	きみがいちばんひかるとき 「本当のあいさつ」	1 あいさつのよさを話し合う。 2 「本当のあいさつ」を読み、話し合う。 ・わたしの「あいさつ」に対する考え方の変化を知る。 ・本当のあいさつとはどんなものなのかを話し合う。 3 振り返る。	礼儀正しく真心をもって p 5 4～5 9
	/	働くことの意義 (C-14 勤労、公共の精神)	社会に奉仕することの喜びを知り、自分のことだけを考えずに公共のために役に立とうとする心情を育てる。	心ゆたかに 「喜びの貯金」	1 人のために尽くし、喜んでもらった体験を話し合う。 2 資料「喜びの貯金」を読んで話し合う。 ・そこら中にごみが落ちているのを見て、ぼくはどう思ったか。 ・ぼくは、どんな気持ちで遊んでいただろうか。 ・千絵さんのお母さんの話を聞いて、ぼくはどんな気持ちになったか。 3 「心のノート」をもとに、社会のためになることについて話し合う。 4 教師の話聞く。	公共のために役立つことを p 1 5 2～1 5 5
7	/	自然を大切に (D-20 自然愛護)	自然の大切さを理解し、自然環境を大切にしようとする態度を養う。	心ゆたかに 「桶ヶ谷沼のトンボ」	1 桶ヶ谷沼について知っていることを発表する。 2 資料「桶ヶ谷沼のトンボ」を読んで、話し合う。 ・羽化したウスバキトンボを見て、まさおはどんな気持ちになったか。 ・ウスバキトンボを沼に返してやろうと思ったのは、まさおがどんな気持ちになったからか。 ・ウスバキトンボが沼の上を気持ちよさそうに、飛んでいくのを見て、まさおはどんな気持ちになったか。 3 自分たちの生活を振り返り、話し合う。 4 教師の話聞く。	自然の偉大さを知って p 1 1 0～1 1 3
	/	自分らしさを見つける (A-4 個性の伸長)	自分の長所を知り、それを伸ばしていこうとする態度を育てる。	私たちの道徳 「短所を改め、長所をのばして」	1 詩「葉っぱのフレディ いのちの旅」を読む。 2 自分の良いところを見つける。 ・自分で見つける。 ・友達に見つけてもらう。 3 自分の良いところをもっと伸ばすめあてを考える。	短所を改め、長所をのばして p 5 0～5 3
	/	マナーを守って (C-12 規則の尊重)	インターネットやメールなどを使うときのルールやマナーについて学び、楽しく安全に利用しようとする態度を育てる。	心ゆたかに 「マナーを守って、インターネット」 ネット資料 「ネット社会の歩き方」	1 事前アンケートを元に、インターネットやメール機能の便利さについて話し合う。 2 2つの事例について知り、正しい使い方について考える。 ・あいまいな内容のメールを受け取ったとき（誤解） ・相手の悪口や個人情報を送ったとき（人権侵害） 3 正しく使うためのルールやマナーをまとめる。	法やきまりを守って p 1 2 0～1 2 5
	/	自分らしさを発揮して (A-4 個性の伸長)	自分の長所を知り、それを伸ばしていこうとする態度を育てる。	きみがいちばんひかるとき 「好きがいちばん」	1 自分の良いところや得意なことについて話し合う。 2 資料「好きがいちばん」を読んで話し合う。 ・将棋が、「ぼく」にとって特別なものになったのはなぜかを考える。 ・生まれて初めて一番になったときのぼくの気持ちを考える。 3 自分の生活をふりかえり、自分にとって「特別なもの」はどんなことか考える。 4 教師の話聞く。	短所を改め、長所をのばして p 5 0～5 3

9	/	よく考えて行動する (A-3 節度・節制)	常に自分の行動を反省し、思慮深く節度ある行動をとろうとする心情を育てる。	心ゆたかに 「サッカー」	1 よく考えないで行動したため、失敗したことなどを話し合う。 2 資料「サッカー」を読んで話し合う。 ・どんな気持ちでどなりつけるように言ったか。 ・みんなの視線を感じて、どんな気持ちだったか。 ・恥ずかしくなったのは、どんな気持ちからか。 3 自分の生活を振り返り、失敗を反省した経験を話し合う。	節度、節制を心がけて p 1 0～1 7
	/	相手の気持ちを考えて (B-7 親切、思いやり)	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする態度を育てる。	きみがいちばん ひかるとき 「運動会の弁当」	1 親切にされた経験を話し合う。 2 資料「運動会の弁当」を読んで話し合う。 ・主人公の徳永君の気持ちを考える。 ・先生方の気持ちを考える。 3 「相手の気持ちを考える」とはどういうことなのか話し合う。 4 振り返る。	相手の立場に立って親切に p 6 0～6 5
	/	ほんとうの友情 (B-10 友情、信頼)	どんな時にでもお互いに信頼しあって、友情を深め、その信頼を裏切らない行動をしようとする心情を育てる。	NHK ココロ部 「最後のリレー」	1 資料「最後のリレー」を視聴する。 2 親友という立場について話し合う。 3 キャプテンとしての立場について話し合う。 4 自分だったらどうするか考える。 5 本当の友情とはどういうものなのか話し合う。 6 振り返る。	たがいに信頼し、学び合って p 7 2～7 5
10	/	けじめのある生活 (A-3 節度、節制)	自分勝手な行いを慎み、物事を深く考え節度ある生活をしていこうとする心情を育てる。	心ゆたかに 「ひとつぶのごはんにも」	1 ものを大事にすることについて、話し合う。 2 資料「ひとつぶのごはんにも」を読んで、けい子さんの気持ちについて話し合う。 ・次々に運動場にかけだしていく人たちを、どんな気持ちで見ていたのだろうか。 ・弁当箱に残っているご飯をじっと見つめて、けい子はどんなことを思ったのか。 ・いくえと一緒にみんなのところに向かいながら、けい子はどんなことを思ったか。 3 自分の生活を振り返り話し合う。 4 教師の話を聞く。	節度、節制を心がけて p 1 0～1 7
	/	社会のルール (C-12 規則の尊重)	社会の法やきまりの意義を理解し、自ら進んでそれらを守る態度を養う。	心ゆたかに 「よごれたままのゆか」	1 きまりを守らなかった経験を話し、そのときの理由や気持ちを考える。 2 資料「よごれたままのゆか」を読んで話し合う。 ・あちこちの床を汚してしまっていたことに気づいたぼくは、どう思ったか。 ・大助さんや勇太さんの話を聞いて、ぼくはどう思ったか。 ・自分がぼくの立場だったら、この後、どうしたらよいだろうか。 3 自分たちの生活を振り返る。 4 教師の話を聞く。	法やきまりを守って p 1 2 0～1 2 5
	/	正しい判断 (C-13 公正、公平、社会正義)	常に誰に対しても偏見を持つことなく、公正・公平にし、正義の実現に努める。	心ゆたかに 「アンパイアの心」	1 公平な態度を受けた時のことを発表する。 2 資料「アンパイアの心」を読んで考える。 ・苦しそうに投球を続ける幸夫を、公一はどんな気持ちで見ていたか。 ・「ホームランだ。言い直せ。」と言われた時公一はどんなことを考えたか。 ・道男たちの言葉を聞いたときの公一の気持ちはどうであったか。 3 自分たちの生活を振り返り、公正公平について考えたことを発表する。 4 教師の話を聞く。	公正、公平な態度で p 1 3 2～1 3 5
	/	相手の立場を考えて (B-11 相互理解、寛容)	謙虚な心を持ち、広い心で相手の立場を考え、自分と異なる意見も大切にしようという気持ちを育てる。	心ゆたかに 「ひどいよ」	1 人の過ちにより辛い思いをした経験について話し合う。 2 資料「ひどいよ」を読んで話し合う。 ・廊下にはり出された自分の絵を見上げていたちか子さんはどんな気持ちだっただろう。 ・汚れてしまった自分の絵を見上げたちか子さんは、どんな気持ちだっただろう。 ・ちか子さんは、こうじさんを許すことができただろうか。また、そう思うのはなぜか。 3 自己を振り返る文を書く。 4 教師の話を聞く。	けんきょに、広い心をもって p 8 0～8 3

11	/	働くことの意義 (C-14 勤労、公共の精神)	働くことの意義を理解するとともに、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役にたつように努める。	心ゆたかに 「おみやげ」	1 社会奉仕について知っていることを発表する。 2 資料「おみやげ」を読んで話し合う。 ・若い女性から「柵を直すのを手伝って下さい。」と言われた時、バスの乗客はどんなことを思ったか。 ・はじめ消極的だった乗客の気持ちが変わったのはどうしてか。 ・外国人が言った「スバラシオミヤゲ」とはどんなおみやげだったのか。 3 自分自身や身の回りに目を向ける。 4 教師の説話を聞く。	公共のために役立つことを p 1 5 2～1 5 5
	/	母からもらったもの (C-15 家族愛、家庭生活の充実)	家族の人々の立場を理解し、互いに協力し合って、よりよい家庭をつくっていく心情を育てる。	心ゆたかに 「母からもらったもの」	1 父母に対してどんな気持ちでいるか話し合う。 2 資料「母からもらったもの」を読んで、話し合う。 ・母からいろいろ注意された時、私はどんな気持ちだったか。 ・母の入院をきっかけに、わたしはどんなことに気付いたか。 ・母が退院した時、わたしはどんなことを考えたか。 3 自己を振り返る。 4 父母からの手紙を読む。	家族の幸せを求めて p 1 5 6～1 5 9
	/	自分の道をひとすじに (A-5 希望と勇気、努力と強い意志)	より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する心情を育てる。	心ゆたかに 「校内マラソン大会」	1 目標をもった生活について話し合う。 2 資料「校内マラソン大会」を読んで話し合う。 ・和也は、どんな気持ちから毎日走ろうと思ったのか。 ・雨が降ったりタイムが上がらなかったりしたとき、和也はどんなことを思ったか。 ・ゴールをめざして走りながら、和也はどんなことを思ったか。 3 自分の生活を振り返り、自分で立てた目標を頑張ってやり遂げた経験を話し合う。 4 教師の話聞く。	希望と勇気をもってくじけずに p 1 8～2 1
	/	自律的で責任ある行動を (A-1 善悪の判断、自律、自由と責任)	自律的で責任ある行動をすることの良さに気づき、自分で考え判断したことに責任をもとうとする態度を養う。	心ゆたかに 「席がえ」	1 「自由」から思いつくイメージを話し合う。 2 資料「席がえ」を読んで話し合う。 ・席がえを自由にすることになったときのぼくの気持ち ・「早くどこかにすわってよ」「もうそこでいいでしょ」と言われたときのぼくの気持ち ・かずやさんの言葉を聞いたときの気持ち 3 自分たちの生活について振り返る。 4 教師の話聞く。	自律的で責任ある行動を p 2 8～3 3
12	/	世界の人々と仲よく (C-18 国際理解、国際親善)	外国の人々や文化をよく理解し、日本人としての自覚を持って世界の人々と仲よくしていこうとする心を育てる。	心ゆたかに 「どうして？ケリーさん」	1 知っている国名をあげて、世界へ意識を向ける。 2 資料「ケリーさんの自由」を読んで話し合う。 ・ケリーさんと初めて会ったとき、わたしはどんな気持ちを抱いたか。 ・ケリーさんが、横断歩道でさっさと渡ったことについて、「わたし」「ケリーさん」の両方の立場から考えてみよう。 ・ケリーさんが欠席理由を聞かれたのに対して「関係ない。教える義務もない」といったことについて両方の立場から考えてみよう。 ・メダカの水槽を一人で準備しているケリーさんに対して、わたしはどんな気持ちを持っているだろうか。 3 外国人との接し方を考える。 4 外国の人々の生活の様子がわかる写真や動画を準備し紹介する。	世界の人々とつながって p 1 7 6～1 7 9
	/	思いやりの心 (B-7 親切、思いやり)	だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする態度を養う。	心ゆたかに 「くずれ落ちただんボール箱」	1 生活の中における親切について考える。 2 資料「くずれ落ちただんボール箱」を読んで話し合う。 ・わたしはどんな考えで、だんボール箱の整理をし始めたのだろうか。 ・おばあさんにお礼を言われた時、どんな気持ちで、「いいえ、いいんです。」と言ったのだろうか。 ・始業式を終えて教室に入る時、足取りが軽やかだったのはどうしてか。 3 親切のよさを体験から見つけだす。 4 教師の話聞く。	相手の立場に立って親切に p 6 0～6 5
	/	かけがえのない命 (D-19 生命の尊さ)	生命がかけがえのないものであることを知り、進んで自他の生命を尊重し、健康に留意する態度を養う。	心ゆたかに 「わがむすこー父の手記よりー」	1 自分が生きていると感じる時はどんなときか話し合う。 2 資料「わがむすこ」を読み話し合う。 ・「わがむすこ」を読んで、どんなことを思ったか。 ・「がんばれ暢大、また明日な」と一声かけて家に向かうわたしはどんな気持ちか。 ・アイスクリームをおいしそうに食べる暢大さんを見て、わたしはどんな気持ちで見たか。 3 自分の生活を振り返り、命の大切さについて考え、話し合う。 4 教師の説話を聞く。	自他の生命を尊重して p 9 8～1 0 3

1	/	美しいもの (D-21 感動、畏敬の念)	清らかなものや崇高なものを尊ぶ 心情を育てる。	心ゆたかに 「ひさの星」	1 夜空に輝く美しい星の写真を見る。 2 「ひさの星」の読み聞かせを聞き、話し合う。 「ひさの星」を聞いて、心に強く残ったことは何か。 3 人間の力について考える。 4 教師の説話を聞く。	大いなるものを感じて p 1 1 4 ～ 1 1 7
	/	希望と勇気をもって (A-5 希望と勇気、努力と強い意志)	より高い目標を立て、希望をもつてくじけないで努力しようとする 心情を育てる。	心ゆたかに 「ぼくと野球」	1 自分自身の夢や希望について話し合う。 2 資料「ぼくと野球」を読んで話し合う。 ・野球の強豪校に進学するまでの主人公の取り組みの様子 ・キャッチャーをまかされたときの気持ち ・思うようなプレーができないときの気持ち ・甲子園出場を果たした主人公について 3 自分自身の生活を振り返る。 4 教師の話聞く。	希望と勇気を持ってくじけずに p 1 8 ～ 2 1
2	/	生きる喜びを感じて (D-22 よりよく生きる喜び)	主人公が、逆境を乗り越え目標を持ちながら生きていく姿を知ることを通して、人として生きる喜びを感じ、よりよく生きようとする態度を育てる。	私たちの道徳 「真海のチャレンジ-佐藤真海-」	1 佐藤真海さんについて知る。 2 資料「真海のチャレンジ」を読んで、佐藤さんの人柄について考えたことを話し合う。 3 佐藤さんの最終プレゼンテーションでの言葉の中から心に残った言葉を選び、それに対する自分の考えを伝え合う。 4 佐藤さんのプレゼンテーションの動画を視聴する。	生きる喜びを感じて p 1 9 0 ～ 1 9 3
	/	誠実に (A-2 正直、誠実)	いつも誠実に、明るい心をもって生活しようとする心情を育てる。	心ゆたかに 「手品師」	1 うそをついたり、ごまかしたりする人がいたときの経験と感じたことを発表する。 2 資料「手品師」を読んで話し合う。 ・友人からの電話で迷っているときの手品師の気持ちはどうか。 ・きっぱり断ったときの手品師の気持ちはどうか。 ・たった一人の客の前で手品を見せている手品師はどんな気持ちだったか。 3 今まで誠実に行動できていたか、自分の行動を振り返る。 4 教師の話聞く。	誠実に明るい心で p 3 8 ～ 4 1
	/	自律的で責任のある行動を (A-1 善悪の判断、自律、自由と責任)	自由を大切に、し、規律ある行動をしようとする態度を育てる。	私たちの道徳 「うばわれた自由」	1 自由とは何かを話し合う。 2 資料「うばわれた自由」を読む。 3 ジェラルドとガリユーの考え方や行動について話し合う。 4 本当の自由とはどのようなことなのか話し合う。 5 振り返る。	自律的で責任ある行動を p 2 8 ～ 3 7
3	/	郷土を愛する心 (C-17 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	郷土の文化や伝統を築き上げてきた先人やお年寄りの努力を知り、自分の郷土を愛する心を育てる。	心ゆたかに 「内膳堀」	1 自分たちの町の発展に目を向ける。 2 資料「内膳堀」を読んで話し合う。 ・内膳が、堀をつくろうと決めたのは、どうしてか。 ・狩野川から水を取り入れるための堀をつくるのにどんな苦労があったか。 ・失敗をくり返してもあきらめずにやり遂げる内膳を動かしていたものは何か。 3 自分の住んでいる地域について考える。 4 郷土の偉人について知る。教師の話聞く。	郷土や国を愛する心を p 1 6 4 ～ 1 6 9
	/	生活に工夫を (A-6 真理の探究)	進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくしようとする態度を育てる。	心ゆたかに 「日本人の手でオルガンを を-山葉寅楠-」	1 自分たちが日常の生活の中で、工夫され便利だなと思うものについて話し合う。 2 資料「日本人の手でオルガンを」を読み、話し合う。 ・寅楠は、なぜ自分の手でオルガンをつくろうと決めたのか。 ・伊沢先生から「音が全く合っていない。」と言われてどんなことを考えたか。 ・伊沢先生から太鼓判をもらった寅楠は、どんな気持ちになったか。 3 今までの生活の中で工夫してよかったと思った経験を発表する。 4 教師の話聞く。	進んで新しいものを求めて p 4 2 ～ 4 5